



議会だより

2015

よしか

第36号



小水力発電所



蔵木グラウンドゴルフ場

平成27年度 第1回定例会

平成27年第1回定例会が3月9日から24日までの16日間開催され、議案50件、請願3件、陳情1件、発議2件、報告1件を審議した。8名が一般質問に立ち、町政の課題について熱い議論をたたかわした。

主な議案

- ・請負契約の変更について
(平成26年度福川浄水場整備工事・吉賀町小水力発電所施設改修工事)
- ・平成26年度小水力発電事業特別会計補正予算(第3号)
- ・平成26年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
- ・平成26年度下水道事業特別会計補正予算(第5号)
- ・平成26年度一般会計補正予算(第9号)
- ・債権放棄について
- ・町道路線変更認定について
- ・過疎地域自立促進計画の変更について
- ・町長・副町長の給与等に関する条例の一部改正について、外15議案
- ・教育委員会教育長の給与、勤務時間勤務条件に関する条例の廃止について
- ・霊きゅう運送事業に関する条例を廃止する条例について、外3議案
- ・蔵木グラウンドゴルフ場施設条例の制定について、外9議案
- ・平成27年度興学資金基金特別会計予算、外7議案
- ・平成27年度一般会計予算

主な条例議案

- ・特定優良賃貸住宅条例の一部を改正する条例について
- ・地域優良賃貸住宅七日市団地の家賃の特例に関する条例の制定について
- ・特定優良賃貸住宅の家賃の特例に関する条例を廃止する条例について
- ・いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について
- ・サクラマスプロジェクト推進協議会設置条例の制定について
- ・町民体育館条例の一部を改正する条例について
- ・蔵木グラウンドゴルフ場設置条例の制定について
- ・町民運動広場施設条例の一部を改正する条例について
- ・地域医療計画策定委員会条例の一部を改正する条例について
- ・地域福祉計画策定委員会条例の一部を改正する条例について
- ・町民のいのちを守るまちづくり条例の一部を改正する条例について
- ・非常勤特別職の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
- ・霊きゅう運送事業に関する条例を廃止する条例について
- ・六日市町災害復旧資金利子補給条例等を廃止する条例について

◆平成27年度吉賀町当初予算◆

一般会計	69億7,202万円	特別会計	32億9,924万円
昨年度当初予算	60億2,679万円	昨年度特別会計	33億6,927万円

【歳入】

■平成27年度主な当初予算概要

(単位:千円)

事業名	予算額	事業の概要
町民税等	533,892	前年度比 ▲ 2,170千円 (▲0.4%)
地方交付税	3,598,532	前年度比 147,788千円 (4.3%) 臨時財政対策債 182,786千円
基金繰入金	277,080	前年度比 ▲ 15,310千円 (▲5.2%)
町債	1,076,300	前年度比 499,000千円 (86.4%) 主な内訳 過疎債 前年度比550,300千円 (155.0%)、緊急防災・減災事業債 前年度比 ▲53,700千円 (▲77.8%)

【歳出】

(単位:千円)

事業名	予算額	事業の概要
企業誘致対策事業	162,864	民間事業者が整備する高速情報通信設備経費の補助
地域おこし協力隊事業	15,198	都市地域等からの移住者を4名採用
地籍調査事業	49,409	田野原、白谷、下須地区を実施
知事県議会議員選挙	10,746	県知事及び県議会議員選挙に係る経費等
臨時福祉給付金事業	13,160	臨時福祉給付金の支給
特養とびのこ苑管理	30,114	とびのこ苑ナースコール等改良工事
居住環境改善事業	225,411	老朽化の著しい構築物の除去経費、旧備中屋(六日市)
地域医療確保緊急対策事業補助	237,334	六日市病院支援計画に基づく補助
有害鳥獣対策	6,580	クマ捕獲用わな購入経費等
観光協会補助	9,836	観光資源活用対策事業の補助等
地域商業等支援事業	2,200	小売店等持続化及び移動販売支援事業
高津川防災安全交付金事業	39,292	谷尻橋の架け替えに係る工事等
国道187号法師淵地区関連工事	15,729	法師淵地区ほ場嵩上げ工事費
公営住宅等整備事業	117,512	とびのこ山、中原団地の設計及び建設工事
益田地区広域市町村圏事務組合設備整備負担金	214,751	県防災ネットワーク再整備事業等に伴う負担金
吉賀高校魅力化支援事業	28,661	安心して通える魅力ある学校づくり支援
中学校施設整備事業	33,121	六日市、吉賀中学校改修工事等
真田グラウンド整備事業	261,965	サッカー専用グラウンドに改良し、地域交流の活性化を行う
災害時対策事業	4,104	ハザードマップ作成委託
消防車両整備事業	9,499	立河内地区の小型動力ポンプ付積載車の更新

主な質疑

庭田議員

- ◆ よしかの里の建て替え、移設に関して総務委員会は調査、意見を出しているが進捗状況は。

【保健福祉課長】 自立支援協議会で協議している。建設費が1億5,000万円ぐらいかかる。用地も6,000㎡ぐらい必要。非常に大きいプロジェクトになるので半年とか1年で簡単に結論が出るという問題ではない。

27年度に視察や近隣市町村のニーズ調査をしながら自立支援協議会で協議しマスタープランをつくっていく。

大多和議員

- ◆ 国道187号法師淵工区の関連工事では場や堤防のかさ上げ工事だが国道なので県負担の事業ではないか。

【建設水道課長】 かねてから法師淵付近は豪雨の場合国道が冠水してきた。県へ改良工事の要望をしてきたが国道のかさ上げについては認められ入札も終わっている。地元の要望でもあるほ場のかさ上げや水路等の工事は町でやる。

庭田議員

- ◆ サッカー場の建設には高額な経費がかかる。将来的に人口の定住や移住にもつながるが、サッカーが現在ブームなので建設したのでは町民の理解は得られない。今後教育委員会はサッカー場をどう活用するのか。

【教育長】 交流施設が併設されている。この施設を活用し、町外、県外からサッカーやフットサルをする人たちとの交流を考えている。

最近ではスポーツツーリズムというスポーツを通じ交流人口を地域の活性化に生かす取り組みが行われている。公認は取らないが年代に関係なく使用できる人工芝のサッカー場を整備をする。

河村(隆)議員

- ◆ ふれあいサロンに対する補助が少なすぎる。サロンを楽しみにしている高齢者が多い。サロンは介護保険や後期高齢者の医療

費削減にも効果が出ているがボランティアは減っている。補助の拡充を。

【保健福祉課長】 予算に計上されているのは社協のサロンリーダー研修費、コーディネーター等に対する役務費、通信費、損害保険料だ。地区には補助はしていない。

ボランティアに対する食事代、移動の燃料代、労賃等支給していないのが現実だ。今後、介護予防の核として機能していくため、検討する。島根県で最低の介護保険料になっているのは住民の努力の結果だ。

桜下議員

- ◆ 介護認定を受けないとデイサービスに通所できない。認知症が増えている。見た目には健常者に見えるが、認知症だけでは介護認定は受けられないのか。

【保健福祉課長】 認知症の人は適切なケア、フォローがあれば介護がなくても、見守りとサポートだけで生活できるというように考えられている。主治医の意見を加味しながら要介護度を上げていくことで対応しているのが全国的な傾向である。

庭田議員

- ◆ 旧備中屋（六日市）解体後の地価評価額はいくらか。跡地に福祉施設を計画しているが交通量も吉賀町のなかでは多い場所で、障がい者施設となれば授産や農業などが考えられるが、場所が適していないのではないか。

【税務住民課長】 面積は1,486㎡、26年度単価で3,576万円、27年度は下落しているので3,143万円程度になる。

【町長】 跡地利用は補助金交付上、公共施設ということで申請した。町民ホールという声もある。いろいろな利用が考えられるが限定していない。近隣に危険が生じているので解体することにした。

藤升議員

- ◆ 旧備中屋（六日市）解体に伴う周辺への影響等は。完了予定はいつか。

【税務住民課長】建物と民家が隣接している。安全対策等は受注業者が負う。解体に半年はかかる。8月までには契約をしないと年度内には済まない。

桜下議員

◆ 老人クラブが、何団体で会員数は。老人クラブの活動は介護予防、認知症予防など医療費の削減にも大いにつながる。補助金が126万円ではあまりにも低すぎる。

【保健福祉課長】現在24クラブ、766人だ。県からの補助金は20万円しかない。

町内には老人クラブだけでなくゲートボールの会、グラウンドゴルフの会、詩吟、コーラスの会等生きがいを求めつつ介護予防として活動している。高齢者の多様な生きがいを創出することも考えていく。

大多和議員

◆ サッカー場はなぜ人工芝で建設するのが。天然芝との比較は、検討委員会からの資料だけでは納得できない。詳しい説明を。

【教育長】建設費と10年間の維持費が単純計算で人工芝が2億4,631万円、天然芝が2億6,061万円、芝管理の機械の初期費用は人工芝が1台160万円、天然芝は芝刈り機6台、機械収納庫合わせて950万円、稼働率、稼働時間当たりのコストは1時間当たり人工芝が約1万5,000円、天然芝が約2万9,000円になる。

人工芝は年間の維持費が安く、天候に左右されない。水はけがいいので稼働率が高く、年間270日は使用できる。短所は初期建設費が高く張り替えが必要。

天然芝の長所は初期建設費が安く色彩、感触が自然を体験でき、CO²の削減による地球温暖化に貢献できる。短所は年間維持費が高く草刈り、雑草、病害虫対策が必要。天候に左右され年間3カ月の養生期間が必要なので稼働率が低い。最近では天然芝を人工芝に張り替えているところが多くなった。検討委員会からは人工芝での建設をと答申があった。

河村(由)議員

◆ ブランド化推進事業に対して予算が少ないのでは。地元資源を生かした商品をブランド化して販売促進を図るのが目的ではないか。真田の農産加工所ができて1年になるが品数も少なく、目新しい付加価値の高い物がないという印象だ。農産加工所の成果について検証が必要では。

【産業課長】農産加工所には13名で「味工房よしか」という組織を立ち上げて地道に商品づくりをしている。

24年以降商品化したものが9品目あり、試作中のものは13品目ある。

新年度は、今ブームのスイーツ関係を計画している。

河村(隆)議員

◆ 木の駅プロジェクトの事業委託はエコビレッジか。間伐材などは石州造林に売っているのか。柿木には炭焼き小屋がある。杉の炭は需要がある。炭焼きの技術を引き継ぐためにも、木の有効利用をもう少し考えたらどうか。

【産業課長】委託先は木の駅プロジェクト実行委員会だ。ほとんどが石州造林に売っている。利益が出る商品を実行委員会で検討しているが現在、薪を商品化にと検討中だ。炭は計画にはない。いずれにしても材を有効に使う。

河村(由)議員

◆ 観光協会の事業で、観光素材の発掘ということだったが、新たな発掘はあったのか。津和野や萩などに比べても観光資源がないのが現実だ。新年度も引き続き事業をつづけるのか。

【企画課長】現在、観光協会で嘱託職員を1名雇用して、観光素材の発掘、整理、基本調査を実施している。ここでの観光とは見える観光ではなく、各地域で活動している人、団体を発掘し、グリーン・ツーリズムという意味も含む。結果を検証しながら新年度は実行できるよう考えている。

主な質疑

三浦議員

◆ 主治医意見書作成委託料の主治医とは誰か。意見書とはどういった内容か。

【保健福祉課長】主治医とは、日常的にその人の疾病を管理している先生をいう。意見書とは介護保険では一次判定で85項目についてチェックし認定パソコンにかける。

その結果と主治医の意見を認定審査会の判定にかける。疾病、投薬、生活の状況などが意見書の内容である。

桑原議員

◆ 吉賀町誕生10周年記念式典で表彰される人の基準は。

【総務課長】表彰条例の中に基準はない。表彰審議会の中で検討する。一定の基準をつくり基準を超えた人を表彰する。

中田議員

◆ 目的税である入湯税の予算が545万円計上されているが、用途は。

【税務住民課長】環境衛生施設、鉱泉源の管理施設、消防施設、消防活動に必要な施設整備、観光の振興などの費用に充てる。

25年度は、柿木温泉の工事、ゆ・ら・らのフロントシステム整備、夏祭り補助金等に充てられた。

桜下議員

◆ 吉賀高校魅力化事業費が計上されている新年度、吉賀高校に進学する生徒数は何名か。町内からは何名か。また各中学校の内訳は。

【教育長】特別選抜者が20名、一般選抜者が13名で昨年より入学者が6名増えた。蔵木中学校が2名、六日市中学校が11名、吉賀中学校が15名、柿木中学校が3名だ。大阪、広島より各1名の県外入学者がいる。

平成27年度一般会計予算の討論

賛成討論

桜下議員

真田グランド整備（サッカー場）が計上されている。若者に夢を与え定住化、U・Iターンの促進、子育て支援、吉賀高校の魅力化、生徒数の確保にもつながる。

三浦議員

真田グランド整備は、維持管理費を比較す

ると人工芝がいい。地方創生が叫ばれている今が絶好のチャンスだ。まず建設することだ。

反対討論

藤升議員

部落解放同盟に対して負担金が計上されている。吉賀町には人権施策推進基本方針がある。本来の人権を追及する中で負担金をだすことには反対する。

平成27年度一般会計予算（修正案）

提出者

大多和議員

人工芝でサッカー場を整備したら負の財産になる。天然芝だと工事費がかなり安く、芝を管理する人の雇用を創出できる。天然芝の管理、生産などの研修が必要だが吉賀町で専門家として育てることもできる。なにより天然芝ならサッカー以外でも多目的に使用でき

る。以上の理由で修正案を提出する。

反対討論

藤升議員

天候に左右されなく使用ができる人工芝が天然芝よりいい。天然芝案に反対する。

〔採決の結果〕 修正案 賛成少数で否決
原案 賛成多数で可決

平成27年 第1回臨時議会

期日 平成27年1月15日（1日間）

【議案第1号】 請負契約の締結について
平成26年度 マンホールポンプ設置工事
一般競争入札契約

契約金額 75,600,000円（税込）

契約先 山陰クボタ水道用材株式会社

【議案第2号】 平成26年度 吉賀町下水道
事業特別会計補正予算（第4号）

七日市地区公共下水道事業の早期完成のため、国庫補助金の追加を要望したところ、補正が認められたため、歳入歳出を10,000千円増額する。

補正後の下水道事業特別会計の予算総額406,022千円

【議会構成の異動】

議会広報特別委員会委員長 桑原 三平
益田地区広域市町村圏事務組合議会議員

安永 友行
吉賀町土地開発公社監事 三浦 浩明

平成27年 第2回臨時議会

【議案第4号】 動産の購入契約について
契約の目的 むいかいち温泉送迎用バス
購入事業

一般競争入札契約

契約金額 6,753,873円（税込）

契約先 六日市ボデー

車両 トヨタコースターGX、マイクロバス、ATディーゼル車、29人乗り

【議案第5号】

平成26年度吉賀町一般会計 補正予算
（第8号）

地域商店の閉店などによる、買い物弱者対策として、新たに出店を計画する者に補助金を交付するため。

（県の補助金交付は、町の補助が前提）
地域商業機能維持緊急対策事業補助金

として、10,000千円を予算化したもの。
補正後の吉賀町の一般会計の予算総額は、7,283,285千円



全員協議会

〔平成27年1月27日〕

【議題】

地域自治区についての素案

吉賀町が発足した際に、合併特例法に基づき旧柿木村の区域に、地域自治区を設置したものが、10年の設置期間が終了するため、今後の存続について、町長から議会に提示された「地域自治区についての素案」に対して質疑した。

〔平成27年2月6日〕

【議題】

ふるさと応援寄附推進事業について

26年度から「ふるさと応援寄附推進事業（通称：ふるさと納税）」を実施しているが、寄付をいただいた方々の要望を踏まえた平成27年度からの事業の概要。

【議題】

電算システムの更新について

住民情報システムの更新が終わり、1月から新システムで稼働している。関連システムの導入スケジュールと平成27年10月1日から運用されるマイナンバー制度の概要。

【議題】

中期財政計画について

平成35年度までの財政推計と財政指標が報告された。

全員協議会

【議 題】

高速インターネット環境整備事業

企業誘致に関して、高速道路のアクセスを前面にしてきたが、社会情勢の変化により、企業誘致には、高速通信網の整備が不可欠となるため、高速インターネットの通信網を整備する事で、既存の事業者と新規の事業者の確保を図るため、27年度において、高速情報通信基盤整備補助金を計画した。

【議 題】

企業立地促進助成金事業について

27年度から創設される、買い物弱者対策として進める「新規移動販売等」への助成金。

【議 題】

澄川喜一記念公園、彫刻の道整備事業について

「ゆ・ら・ら」に隣接して整備されているモニュメント公園が、整備以来15年を経過し、景観の悪化や機能低下がみられ、合併10周年を迎える事から、名誉町民の澄川喜一先生の名を冠した彫刻の道として整備する。



【議 題】

霊きゆう運送業務の廃止について

霊柩車の使用回数が減少し、民間事業者も運営しているため、27年度から廃止の方針。

【議 題】

第1期子ども子育て支援計画

上位法である国の支援法の施行に伴い、吉賀町でも現行の条例を見直して、支援計画を策定する。

【議 題】

第3次石州会六日市病院支援計画

現在の第2次支援計画が、平成26年度をもって終了するため、平成27年度より3か年計画で、病院支援計画を策定するもの。

【議 題】

第4期障がい福祉計画

上位法の「障害者総合支援法」と「自立支援法」の規定に伴い、現行計画の改定を行う。

【議 題】

第6期高齢者いきいきまちづくり計画

上位法の「老人福祉法」と「介護保険法」の規定に基づき、策定するもの。

【議 題】

コメのブランド化事業

基幹作物である米の有利な販売の方策を検討実施し、農家の経営安定を目指すもので、町内の全域を対象として行うが、強制ではなく、趣旨に賛同する方の参加を予定。「穀粒判別機」と「食味分析計」を導入する予定。

【議 題】

地域おこし協力隊事業

都市部から人材を招致して、地域の担い手とともに、地域産業の活性化につなげる事業。

【議 題】

地域商業等支援事業

県が、地域商業の維持に取り組む事業者を支援する目的で、新たな制度を創設したため、吉賀町もこれを活用した事業を構築する。

【議 題】

銀杏寮増床工事について

昨年7月以降の経過説明と工事費の清算方法や弁護士費用の説明。

【議 題】

教育委員会の制度改革について

平成27年4月1日施行の「地方教育行政の

組織及び運営に関する法律の一部改正」に伴い
条例の一部改正を行う。

【議 題】

真田グラウンドの再整備計画について

〔平成 27 年 2 月 13 日〕

【議 題】

地域自治地区について

【議 題】

真田グラウンドの再整備計画について



〔平成 27 年 3 月 5 日〕

☆平成 27 年度から取り組む事業に関し、事
業内容等が、事前に説明された。

【議 題】

地方創生対策

国の制度全般と国の補正予算の概要、吉賀町
における総合戦略エントリー予定事業と 3 月補
正予算に計上する交付金事業の概要。

【議 題】

吉賀町誕生 10 周年事業の概要

平成 27 年度は、吉賀町が誕生して、10 周年
を迎えるため、「吉賀町誕生 10 周年記念」との
冠をつけた事業・イベントを開催する予定。当
面確定しているのは、ゆ・ら・らに隣接する公
園の再整備する事として、宇部市で開催される
彫刻展に『吉賀町長賞』を設け、当該作品を展
示するなどし、「澄川喜一記念公園彫刻の道」
として整備する。

【議 題】

エポックかきのきむら経営改善支援
補助金

エポックが経営改善を進めるために導入する
専門家の経営分析、或は、指導に係る経費に対

する補助金。

【議 題】

小水力発電所改修工事

柿木の小水力発電所については平成 25 年度
から改修工事を実施しているが、現在までの工
事の進捗状況及び工事実施に伴い、新たに改修
が必要となった施設等を変更契約で実施し、平
成 27 年 5 月に竣工予定。

【地域自治区素案と議会の意見】

柿木地域振興協議会会長の出席を求め、質
疑し、次のような意見を町長に答申した。

〔町の方針〕

①市町村合併特例法を根拠とする現行制度の
まま継続設置する。

【議会の意見】

合併時に 10 年間の期限をつけた考え方を尊
重して継続すべきでないという意見もあるが、
おおむね継続設置に賛成である。

〔町の方針〕

②延長期間については、向こう 5 年間で基本
とする。

【議会の意見】

住民自治や行政との協働を推進するためには、
期限を設けるべきでないという意見と、5 年
の年期限があるから素案に賛成するという意
見、或は 5 年より短くても良いとの 3 種の意
見がある。

〔町の方針〕

③同形態での以後の設置延長は行わない。

【議会の意見】

継続すべきという意見もあるが、柿木地域振
興協議会の今後 5 年間の手づくり自治区の取
り組みの成果を十分に検証し、本町の自治会
活動の模範となり、全町に広げられるもので
あれば、新しい形の制度創設を検討すべきで
ある。

議案の議決結果

『議決結果確認表』

○：賛成 ×：反対

	件名	桑原	大多和	三浦	桜下	中田	河村隆	藤升	河村由	庭田	潮	安永
第一回臨時会	請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は可否同数の場合を除き採決に加わらない
	26年度町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	26年度町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	介護保険制度における国庫負担引き上げを求める意見書(案)	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
第二回臨時会	動産の購入契約について	○	○	○	○	欠席	○	○	×	○	○	議長は可否同数の場合を除き採決
	26年度町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	
	介護報酬引き下げ中止を求める意見書(案)	×	○	○	○	欠席	○	○	×	×	×	
	件名	桑原	大多和	三浦	桜下	中田	河村隆	藤升	河村由	庭田	潮	安永
第一回定例会	請負契約の変更(福川浄水場整備)	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長は可否同数の場合を除き採決に加わらない
	請負契約の変更(小水力発電所改修)	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	
	26年度小水力発電事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	
	26年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	
	26年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	
	26年度下水道事業特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	
	26年度一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	
	債権放棄について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
	町道路線変更認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	過疎地域自立促進計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	特定優良賃貸住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地域優良賃貸住宅七日市団地の家賃の特例に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	特定優良賃貸住宅の家賃の特例に関する廃止条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育委員会教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	町長及び副町長の給与等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	課設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	証人等の実費弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	クリスマスプロジェクト推進協議会設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町民体育館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	蔵木グラウンドゴルフ場施設条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町民運動広場施設条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地域医療計画策定委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地域福祉計画策定委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町民のいのちを守るまちづくり条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	保育所における保育に関する条例の廃止条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	小規模保育所条例の全部改正条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
放課後児童クラブ条例の全部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

『議決結果確認表』

○：賛成 ×：反対

件名	桑原	大多和	三浦	桜下	中田	河村隆	藤升	河村由	庭田	潮	安永
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は可否同数の場合を除き採決に加わらない
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域包括支援センター運営協議会設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
非常勤特別職の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
霊きゆう運送事業に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	
六日市町災害復旧資金利子補給条例等の廃止条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27年度興学資金基金特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27年度後期高齢者医療保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27年度小水力発電事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27年度簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27年度一般会計予算	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	
27年度一般会計予算の修正案	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	
農協改革など、農業改革に関する請願	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	
米価対策の意見書を求める請願	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	
T P P 交渉に関する請願	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	
急傾斜地危険箇所の防災対策を求める陳情	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
資本金1億円以下の中小企業への外形標準課税の適用を拡大を行わないことを求める意見書	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	

〔委員会報告〕

【総務常任委員会】

桑原委員長が、副議長就任のため、中田 元 議員に、交替した。

委員長 中 田 元
副委員長 桜 下 善 博



一 般 質 問

※一般質問の内容は、本人の原稿をもとにしています。



三浦 浩明

地方創生対策の取り組み・六日市病院の支援策

【問】 竹下首相がふるさと創生事業で、この度の地方創生に似通った対策があり各地に1億円ずつ用途を問わず配布された。

今回の地方創生はかなりの縛りがあり、吉賀町においては4,900万円余りの交付上限額となっている。

地域を活性する為にいろいろな対策が考えられ、今後5年間で各地方において効果の差が出てくると予想される。

吉賀町においても7つのメニューが計上されてはいるが、今後に向けてどのような取り組みを計画していくのか。交付額が少ないのではないか。

〈町長〉 本年10月を目標に吉賀町版の5カ年計画を、町の実情に合ったものを基本として、各分野の関係者の意見を聞きながら、計画策定に取組み結果を出していく。

交付額においては国の予算に合わせて頂くもので、ソフト的な事業を総合戦略として計画、実行していく。

【問】 昭和56年六日市病院開設以降、国の医療費抑制政策等の影響により経営難が続いている。吉賀町としても出来る限りの支援策を講じているが、津和野町の共存病院は本町以上の手厚い支援が成されているようだ。

六日市病院は連携する六日市学園の存在もあり、吉賀町の人口、雇用の面においても重要な施設で、今後も最大の経営支援をしていくべきではないか。

〈町長〉 医療制度が変わったことにより、どの病院も経営が厳しい状況にあるが、この地域においても必要不可欠な病院である。

経営支援は認めるどころであり、病院・銀行・行政の三者会議を行っており財政状況を確認しながら支援を検討していかなければならない。

また、知事にも公的公立病院の要望活動をし、公立病院並の支援をしていただいている。



庭田 英明

地方創生。しっかり対応を！！

【問】 地方の生き残りの最後のチャンスといわれる地方創生事業がスタートした。人口を増やすだけでなく、新しい産業や社会をどのように構築していくのかという大きな目的がある。

事業を成就させるためには企画課から独立した課の新設が必要と考えるが。

〈町長〉 独立した部署を設置するよりも、各課を横断した推進体制組織のほうが、より効果的と考えている。

【問】 定住対策としての住宅の整備支援や雇用支援など、もう少し細やかな配慮が必要と考える。

〈町長〉 空き家については担当課で、雇用支援については移住相談員を通してお手伝いをしていく。

【問】 将来、町を支えていく人材を育てるという、サクラマス事業は町にとっては非常に重要な事業と考えている。

地域会議など様々な提案がされているが、サクラマスを育てる地域の人をどのように育てていく考えか。

〈教育長〉 様々な団体や階層の人に地域会議に参加して頂き、それぞれの地域の特性を活かしながら目標に向かって活動する。そのことにより地域力、すなわち人は育つと考えている。

【問】 サクラマスが将来帰って来れる地域、町を残さないとプロジェクトの意味は無い。

委員会として地域づくりにどのように関わっていくのか。

〈教育委員長〉 集落を守り存続させることがプロジェクトの意味があり地方創生にもつながると考える。

町長部局としっかり連携しながら町づくりの学習の機会を増やしていきたい。

【問】 吉賀高校で地域創造コースが新設された。教育委員会として支援をしていく必要があると考えるが。

〈教育長〉 積極的に関わっていく考えである。

地方創生対策を聞く



河村由美子

【問】 出生数や農業算出額等の数値目標を盛り込んで、地方創生への道筋を各自治体が描く5ヶ年計画（地方版総合戦略）の策定作業を、当町は県の方向性を受けてから町づくり計画を基にして当面庁舎内の職員のみで推進母体で策定作業を進めて行くとの事だが、職員のみではかたよった政策や限界もあり机上の空論になると思う。

やはりこの地域の産業界、金融界、住民から幅広く知恵を貰う、住民の下支えの無い戦略は他の自治体のものまねでしかない。まずは当町に住んでいる人が何が不満で何を求めているのかを把握し、地域を元気に活性化させる事が先決と思うがいかがか。

〈町長〉国から人口ビジョンと総合戦略を策定するように求められ対応している。数値目標や成果目標により、効果等の検証ができるとしている。地域性のある計画を産業、行政、教育、金融、労働界の幅広い意見を反映しようと思っている。特典付プレミアム商品券を今年度も発行する。消費喚起、生活支援とし

て国でも効果の高い事業として奨励されている。

【問】 住民が期待すること、不安に思う事を的確に掴み、人口減は社会基盤を揺るがす事に成る。課題は減少をどう食い止めるか知恵の出し比べであり、国もずば抜けた戦略を計画し全国的に参考事例と成りそうな計画で有れば上乘せ交付金が見込めるようだが、検討組織を立ち上げて優先順位を決定し、実行してほしいと思うが。

〈町長〉各階層の意見を聞くと云うことは私も必要と思っている。5ヶ年計画の策定に当たっては効果等を検証し、見直しを含め策定する。

【問】 交付金を元手に次世代の育成や、地域資源を活用しながら、持続可能な町づくりをする。また既存の政策事業を再点検し、隣の自治体と連携して事業の拡大を計ることも考えては。

〈町長〉総合戦略をつくりながら取り組む。

まちに、にぎわいを



河村 隆行

【問】 地方創生、それは地方をにぎやかにすることだと思う。吉賀町がにぎやかになる。キーワードは人口対策。いろいろな施策や事業を絡めて一人づつでも増やす。

そこで、まず3世代家族を増やすこの大きなスローガンを掲げることと思う。吉賀町に住居を構えてもらい、広島、岩国へと通勤してもらおう。中国道もあり可能なのでは、通勤に対し援助や補助を行ったらどうか。

〈町長〉こちらに住所を置き、広島などに通勤し収入を得る、非常に歓迎したいと思う。そういう方が何人おられるか、それでUターンなどが進むのであれば検討に値すると思う。

【問】 庁舎内にバイオコークスが展示してある。又林業従事者も2年間で10人ぐらい養成とある。山に路網をめぐらし、木を搬出し、市場などを開き間伐材、チップ材、加工材それぞれに分類し、住宅材、加工材に適しないものはチップやコークスにする。

少し高くつくかもしれないが、化石燃料ではなく、自前のエネルギー源である。町内で

サイクルし、また小さな発電所でも持っている町には、水力と木材、自然にやさしい発電所を持つことができるのでは。

〈町長〉バイオコークスについては、町内の材木でつくり、ヨシワ工業さんで燃焼実験を行った。まだ正式な報告書は出ていないが、化石コークスに5%のバイオコークスを混ぜて混焼した。ほぼ同程度の熱量と聞いている。

5%でもヨシワ工業さんの使う量は相当量なので、コスト面などの問題もあるが、こういったものに利用、活用を図っていき、雇用や企業化にもなるのではと思っている。





大多和安一

真田グラウンドを人工芝で整備は「負の財産」

【問】 今回は、「行政のチェック（町議会議員の任務）」という観点で、一般質問をする。

真田グラウンドの整備に関しては、基本的には賛成であるが、『人工芝で整備するのは、「負の財産」を後世に残す』ため、反対である。

『天然芝』で整備し、維持管理費で、雇用が創設出来る。人工芝に関して調査したところ、人工芝は、ポリエチレンを含む合成樹脂であり、耐久性は、永くて12年で、太陽光にあたると劣化が進むため、12～3年後には、張り替えが必要となり、高額な経費が必要だ。『天然芝』でも管理面をきちんとすれば、人工芝に劣らない集客が見込める。

人工芝でも、グラウンド使用後は必ず、使用しない場合でも1週間に1回はブラッシング必要とされ、議会に示された以上の経費を維持管理費に要すると思うが。

〈町長〉平成25年9月議会で、陳情が採択されたため、「再整備検討委員会」を設置し、検討を重ねた結果、『ライフサイクルコストを考慮して、人工芝の採用が望ましい。』との報告であった。近隣の市町村でも、天然芝

で整備されたグラウンドを、人工芝に改修している傾向が見受けられ、人工芝で整備する。

七日市小学校の二の轍は踏まないように事業を進める。

【問】 「吉賀町誕生10周年記念事業」として整備するならば、天然芝での整備が当然だ。

また、公認のとれない施設整備だと、スポーツツーリズムが望めるのか。

〈町長〉公認がとれる方がいいと理解しているが、コート周囲の面積が不足のため、公認がとれないと聞いている。整備のされていない現状でも、近隣から集まっているので、公認がとれなくても、きっちりと整備すれば、もっとそういう方がおいでになると思う。

人工芝で整備し、若い子どもたちの夢を少しでも早く実現させて、環境の良い所でのスポーツをする思い出をつくるのが、私達の責任だ。天然芝から人工芝へ変えているところもあるようなので、私としては、検討委員会と教育委員会の判断を尊重したいと思っている。

整備が、人工芝か天然芝かは、10数年後の住民の判断を仰ぎたい。



藤升 正夫

真田グラウンドに人工芝と照明設置し、多目的広場へ

【問】 真田グラウンドは、2年前にクレイ舗装で整備する計画だったが、「真田町民グラウンド（多目的広場）人工芝等整備に関する陳情書」を議会が採択し、再整備検討委員会での協議などを経て、人工芝化、防球ネット等で2億6千万円の予算が組まれている。

照明設備の設置にあたっては、防犯外灯直下においては生育不良などの被害も発生している。照明による光害について実証を行い、隣接する交流研修センターの居住者、農地の耕作者などの理解を得ることが重要である。

また、専用の管理機を活用した日常の管理を求める。

〈教育長〉照明施設の設置については、夜間利用の需要や、周辺の水田等への影響に十分配慮し、関係者と協議を行い検討したい。

管理機の整備については、施設を指定管理者制度によって管理委託をする予定にしているので、意見を踏まえ管理方針を検討したい。

【問】 以前から児童公園の整備を要望してきた。グラウンドゴルフでの利用も、1打目

は芝が痛まないようシートを敷くなど一定の条件の中でできる。子どもから大人まで一緒になって交流できるよう期待されている。〈教育長〉サッカーをはじめ、グラウンドゴルフ、陸上を含めた運動にも活用できる。多くの方々に活用してもらいたい。

【問】 可燃ごみの減量に関心のある人を増やし、生ゴミの水切り、コンポスト化、分別の徹底などそれぞれの家庭でできる取り組みを拡げることが、町の支出を減らすことにつながるのか。

〈町長〉吉賀町のゴミは増えており、負担金も増えている。啓発活動を行いながら排出ゴミの減量化を図っていきたいと思っている。

【問】 収集体制の見直しについては、ゴミの絶対量が減らないと収集にかかる費用も同様にかかる。収集回数を減らすことについては、慎重な対応が必要である。

〈町長〉住民の迷惑にならないように、業者との協議をしっかりとしながら対応していかなければならないと思っている。

旧備中屋(六日市)跡地に町民ホール建設を！



桜下 善博

【問】 旧備中屋は今年度解体、跡地は無償で吉賀町へ譲渡される事がすでに決まっている。

解体後はどうするのかと町民の関心は高い。町内には趣味、サークル、公民館の推進による生涯学習など高齢者の活動が盛んである。

しかし活動を発表する機会や場所が少ないという声が多い。音響施設、観客用の椅子などの準備など高齢者にとって負担が大きい。少年達にはサッカー場、町民には文化ホールを合併 10 周年記念事業として建設して欲しい。

〈町長〉町内には教育委員会が把握しているだけで文化スポーツ活動の団体が 70 団体ある。発表の場が無い団体があることは承知している。以前から町民体育館に椅子の出し入れが自動でできるなどの改造は考えていたが、音響の問題もあった。

今後は文化協会の設立など団体の把握、組織化を図りながら建設に向けた基本づくりが大切だ。夢は実現しなければ意味がない。夢を形にしていく必要がある。

【問】 年末年始のデイサービスの休みが 26 年度は 6 日間だった。デイサービスには利用者本人、家族は本当に感謝している。また認知症の症状の方も利用されている。

デイサービスは家族の介護の負担の軽減や、認知症は外部との接触や脳の神経を刺激することにより進行を遅らせることができる。

職員にも労働条件、人権もあることは、承知しているが年末年始の休みが短くならないか。正月明けの入浴サービスなど検討して欲しい。

〈町長〉すでに町民から年末年始の休日の短縮の希望が出ている。社会福祉協議会、保健福祉課と協議した結果、今年度から 1 月 1 日から 1 月 3 日までの 3 日間のみを休みとする予定だ。

デイサービスも六日市は日曜日、七日市、柿木は土曜日開始予定だ。今後も社会福祉協議会が行う地域に密着した運営に最大限の支援をする。

定住対策には産業振興が不可欠



桑原 三平

【問】 定住対策には産業振興が不可欠である。定住対策の一環とし、新年度より保育料及び学童保育利用料を無償化する子育て支援事業を加え、学校給食無償化、18 歳までの児童生徒への医療費助成等、対策を充実したことは大変有意義な事である。

しかし、定住となると収入の事が一番肝要である。安定した収入が確保できるのか、他の施策と併用した支援が必要だと思う。

今回、産業振興の中でも林業振興を特化したのは、施政方針で延べている林業従事者育成事業に取り組み、山林資源を活用した雇用の創出を図るとあるが、誰が山林資源を活用し、誰が雇用の場を創出するのか。理解しかねる。町長の考えを問う。

〈町長〉町内の森林は、公益的機能を持った木材供給源となる生産林と持続的公益機能を重視する環境林と 2 つに区分し、循環型システムで森林経営をし、管理する状態を目指している。森林をどのようにするか目に見える

形で示すことは大変重要であるので検討しプランづくりを進めていく。

【問】 造林作業は初心者の方でも就業の場につくことが可能である。地方創生総合戦略の中で国有林と民有林との連携を強化し、森林整備事業を展開し、事業費を確保、林業従事者を育成しながら資源を活用した、再生可能エネルギーを利用する町、安心安全な町、雇用の場があり収入も確保できる町、このことについて考えを聞く。

〈町長〉林業施策については、行ってきているし、これからも推進していく。

林業で経済を支えている町村があるので、全国の事例から、町に合うよう取り入れ、定住につながるような形にしていくことは、当然しなければならないので、林業担当、関係者の考えを聞きながら、山林経営、農林業の復活のため、検討し拡大していく考えである。

発議

《第1回臨時会 平成27年1月15日》

◆【発議第1号】

「介護保険制度における国庫負担金引き上げを
求める意見書（案）」

○提出者 藤升正夫

《意見書の内容》

介護保険料引き上げを抑えることにより、町民
の負担を緩和するため。

☆提出先 衆参両院議長・内閣総理大臣・総務大
臣・法務大臣・財務大臣

〔採決の結果〕 賛成多数 可決

《第2回臨時会 平成27年2月26日》

◆【発議第2号】

「介護報酬引き下げ中止を求める意見書（案）」

○提出者 藤升正夫

《意見書の内容》

介護サービスを維持するため

〔採決の結果〕 賛成多数 可決

◆【発議第3号】

「資本金1億円以下の中小企業へ外形標準課税
の適用拡大を行わないことを求める意見書（案）」

○提出者 藤升正夫

《意見書の内容》

中小企業の経営と雇用を守るため。

〔採決の結果〕 総務常任委員会 賛成少数 否決
本会議 賛成少数 否決

請願

◆【請願第1号】

農協改革など「農業改革」に関する意見書（案）
の採択を求める請願

○提出者 島根県農民運動連合会

代表者 長谷川敏郎

○紹介者 藤升正夫

《意見書の内容》

一般企業の農地取得に道を開く農地法改定や農
業委員会の公選制の廃止を止めること。協同組合

である農協のあり方は農協自身の改革を尊重し、
法的な措置により強制は止めることを求めるもの。

〔採決の結果〕 経済常任委員会 賛成少数 不採択
本会議 賛成少数 不採択

◆【請願第2号】

米価対策の意見書を求める請願

○提出者 島根県農民運動連合会

代表者 長谷川敏郎

○紹介者 藤升正夫

《請願の内容》

需要と価格の安定に責任をもつ米政策を確立す
るとともに、米直接支払交付金の半減措置と、米
価変動補てん交付金の廃止を撤回し、農家の安定
対策を図ることを強く求めるもの。

〔採決の結果〕 経済常任委員会 賛成少数 不採択
本会議 賛成少数 不採択

◆【請願第3号】

TPP交渉に関する請願

○提出者 島根県農民運動連合会

代表者 長谷川敏郎

○紹介者 藤升正夫

《請願の内容》

TPP交渉に関する国会決議を順守するととも
に、守れない場合は、交渉から撤退することを強
く求めるもの。

〔採決の結果〕 経済常任委員会 賛成少数 不採択
本会議 賛成少数 不採択

陳情

◆【陳情第1号】

急傾斜地危険箇所の防災対策を求める陳情

○提出者 柿木橋南自治会

会長 小田善史

《陳情の内容》

地面が軟弱であり、集中豪雨時には、崩落のお
それがあり、安心して生活ができない状況である
ので、現地を調査の上、防災対策を求めるもの。

〔採決の結果〕 経済常任委員会 賛成少数 不採択
本会議 賛成少数 不採択

編集後記

今年の桜は、例年より早く開花し、小、中学校の入学式には満開の時を過ぎていたが、新入生には、桜が一番似合
う。

小学校の新入生は、50人（蔵小1、六小18、朝小4、七小8、柿小19）、中学校では43人（蔵中3、六中19、吉
中10、柿中11）で、医療費の助成等に続き学校給食費、学童保育料の無償化など子育て世代に対する町の支援は全国
的にみても際だつ施策を今年度から展開している。このことにより、人口減少に少しでも歯止めが掛かり、町の活性
化につながることを期待したい。

3年4ヵ月ぶりに議会だよりの編集に加わることになった。誌面の文体が「です、ます」調から「である」調にな
っているが、新聞ではないので「です、ます」調に戻す事を提言したところである。（桑原三平）